

所管課		健康長寿部健康推進課														
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策									
	第2章 共生共感都市			07 健康			01 生涯を通じた健康づくりを推進する									
事業：健康増進検診事業													整理番号	0098		
目的	青年期からの疾病の早期発見及び健康増進の意識づくりを図る。また、がん、心臓病、脳卒中等生活習慣病の疑いのある人を早期に発見し、診査の結果、必要な人に対して保健指導を行い、壮年期からの健康について意識の高揚を図り、生涯にわたる健康生活を支援する。															
目標	がん検診の受診率の向上をめざし、市民への啓発活動等を充実させる。また、肝炎ウイルス検査等についても受診勧奨の啓発を充実させる。															
事業費・財源	事業費（決算額）(千円)		248,885		コスト情報・評価	総コスト（千円）		267,946		総合評価 B 評価理由 異常や疾病を早期に発見し、必要に応じて治療につないでいる。また、検診をきっかけに自分の健康や生活を振り返る機会となっている。	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		228,882		内訳	事業費		248,885		効率性		A			
		国府支出金		16,198			人件費		19,061		有効性		B			
		地方債		0			公債費		0							
		その他特定財源		3,805			一人あたり(円)		2,399							
							世帯あたり(円)		5,670							
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	疾病を早期に発見し、必要な治療につないでいる。また、検診をきっかけに自分の健康や生活を振り返る機会となったため。										
今後の方向性	受診率対前年比アップの実現。															

事業 優先順位		1	細事業:がん検診事業				整理 番号		03					
目的		がんを早期に発見し、早期治療に結びつけることにより、市民のがん死亡率の低下を図るとともに、がん予防の啓発及び知識の普及を図る。												
目標		がん検診及びがん予防についての健康教育及びクーポン券事業や個別通知などにより、受診率の向上をめざす。												
事業 実施主体		委託		事業開始 年 度		昭和60年度		根拠 法令		健康増進法				
事業費・財源	財源内訳			平成25年度	平成24年度	比 較		コスト 情報・従 事職員数 参考			平成25年度	平成24年度	比 較	
		事業費(決算額)(千円)		181,198	185,316	-4,118			総コスト(千円)		196,066	201,980	-5,914	
		一般財源		169,808	171,597	-1,789			事業費		181,198	185,316	-4,118	
		国庫支出金		7,724	10,005	-2,281			人件費		14,868	16,664	-1,796	
		地方債		0	0	0			公債費		0	0	0	
		胃がん検診等負担金		3,666	3,714	-48			一人あたり(円)		1,756	1,789	-33	
				0					世帯あたり(円)		4,149	4,283	-134	
				0					職員数(人)		1.95	2.10	-0.15	
									再任用職員数(人)		0.00	0.00	0.00	
今後の方向性		がん検診の必要性や有効性を理解してもらうため、地域と連携し啓発し、また市民が受診しやすい検診となるよう予約方法等を改善していく。												
評価	妥当性		効率性		有効性		対象者	①胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診:40歳以上の市民②乳がん検診:40歳以上の女性市民③子宮頸がん検診:20歳以上の女性市民						
	A		A		B									

事業：健康増進検診事業

1. 健康増進検診事業

健康増進法等に基づき、市民の健康づくりや疾病予防を積極的に推進することを目的に、一般健康診査事業、がん検診事業、歯科検診事業、骨粗しょう症検診事業、肝炎検査事業、追加検診事業、青年・成人健康診査事業を実施した。

細事業：がん検診事業

1. がん検診

がんの早期発見により、がん死亡率を減らすことを目的として胃・大腸・肺がん検診を40歳以上の市民、乳がん検診を40歳以上の女性市民、子宮がん検診を20歳以上の女性市民を対象に実施した。

＜がん検診の状況 実施機関／集団 保健センター・個別 医療機関＞ (単位：人)

項 目	受診者数	異常なし	要精密検査	要 精 密 検 査 結 果 別 人 数				
				異常なし	がんであった人	がん疑い	がん以外の疾患疑い	未確定
胃 が ん	6,400	5,629	771	22	14	1	420	314
大 腸 が ん	9,809	8,929	880	62	9	3	221	585
肺 が ん (集団のみ)	1,274	1,268	6	2	1	1	1	1
乳 が ん	3,577	3,309	268	114	17	1	88	48
子 宮 が ん (個別のみ)	2,634 内、体部受診 334	2,604	30	1	0	0	4	25

* 要精密検査結果別人数は平成26年6月11日現在の暫定数

2. がん検診推進事業

特定の年齢に達した市民に対して、子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診に関する検診手帳及び検診費用が無料となるクーポン券を送付した。

子宮頸がん検診 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性市民（平成25年4月1日現在）

乳がん検診 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性市民（平成25年4月1日現在）

大腸がん検診 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の市民（平成25年4月1日現在）

3. がん検診個別通知による受診勧奨

特定の年齢の市民に対して、受診促進を目的にがん検診に関する情報提供とがん予防のための啓発を行った。

対象者は当該年度に 60歳、62歳、63歳、64歳になる市民（5,231人）